

サポクラ 通信

令和3年(2021年)9月号

今月の内容は...

- ・スローロリスが伝えてくれること1
- ・ゾウ舎の砂入れ替え作業を行いました！5
- ・カバの近況報告8
- ・チンパンジーの性成熟と発情10

スローロリスが伝えてくれること



サポクラ会員のみなさま、こんにちは！
いつもたくさんのご支援を、ありがとうございます。
昨年10月からカンガルー館にいるスローロリスの担当
となりました沖野と申します。
スローロリスの魅力を、めいっぱいお伝えしようと思
います！
ぜひ、開園後は実際に会いに来てくださいね♪

スローロリスってどんな動物？

スローに(ゆっくり)動く…**リス**????

いいえ、違います。

“ロリス”とは、オランダ語で『道化師(ピエロ)』の意味をもつ
単語です。

スローロリスは、私たち人間と同じ霊長目に分類される

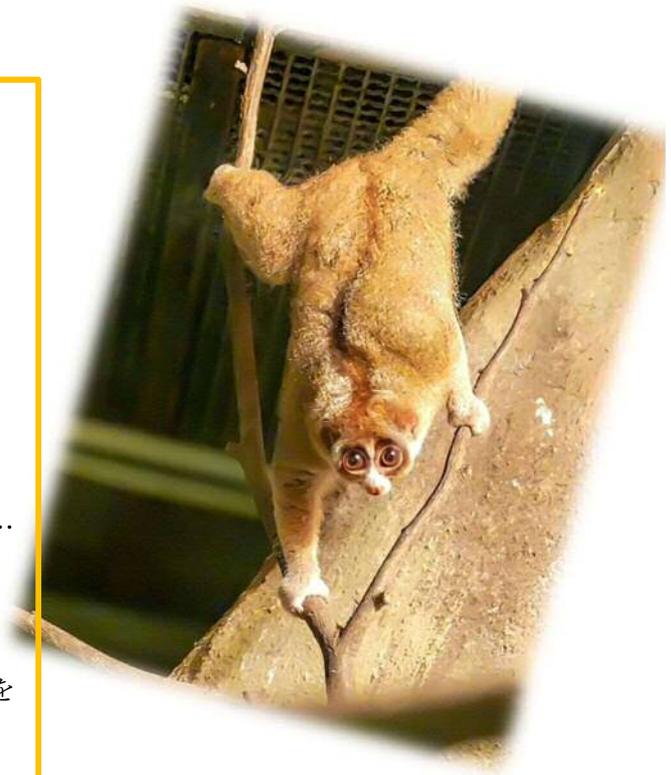
サルの仲間です。

『**ピエロ**』を想像しながらスローロリスを観察してみると…

4本の両足を自由自在に動かし、枝から枝へとすいすい移動。

重力なんてないかのように、変幻自在に歩き回ります。

なるほど、初めてこのサルを見た人が『ピエロ』という単語を
名前に入れたくなる気持ちがわかる気がします。



かわいいだけじゃない、 スローロリスの現実を知ってほしい



スローロリスを飼
いたい人がいると
…



お金儲けしたい人
がいなくならず…



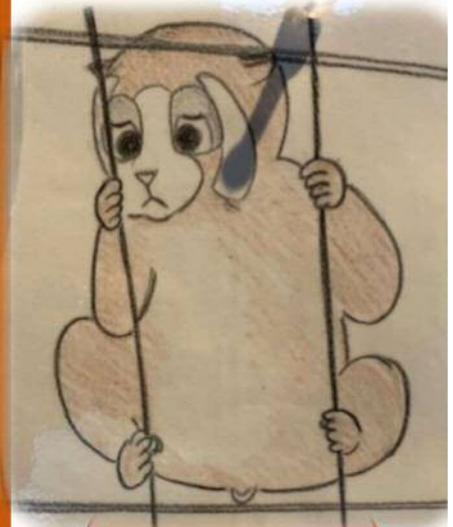
密猟者は、暗闇で光る眼を狙っ
てスローロリスを落下させま
す。その結果失明してしまう個
体もたくさんいるのです

目がぱっちりとした愛らしい姿のスローロリス。
それゆえに、**この日本において**、ペットとし
ての需要がとても高く、お金儲けをしたい人が
野生の森から無理矢理日本に連れてきて
しまうという悲しい背景を持っているのです。

捕まえるときや、野生の森から日本に到着するま
での間に様々な**ストレス**を受け、大半は途中で命
を落とします。たくさん死んでしまうことが初め
からわかっているから、密猟者はそれ以上に**たく
さん**捕まえます。

ペットショップで売られているスローロリスた
ち…その背景には、**教えきれないほど**の
スローロリスの**命**が隠れているのです。

現在は絶滅の危険がある生き物を守るために、**ワ
シントン条約**で保護の必要がある生き物の国
際取引が規制されています。



少しだけ、立ち止
まって考えてみて
ください。

密猟がバレると捕まり
ます。そのため、靴下
に詰め込むなど隠しな
がら運ぼうとします。
これでは窒息してしま
います…



動物園の役割

動物園の大きな役割の一つに、“**種の保存**”というものがあります。皆さんは、動物園に来て

『わ～、珍しいね』『こんな動物見たことないね』なんて、思ったことはありませんか？？
もちろん、元々の生息地が違うので当たり前のことですが、

珍しいということは**数が少ない**ということでもあるのです。

なぜ、少なくなったのか？

人と動物の営みの中で生じた**軋轢**が、彼らの**命**を脅かすことに繋がっているのであれば…

そのことをたくさんの人に**知って**もらう。そしてそのために、彼らの**血**を絶やすことなく

継続させていくことが、とても重要です。大切な大切な、メッセンジャーですから！

そんな**使命**が動物園にはあるのです。

円山動物園の取り組み

円山動物園では、今年の6月に広島動物園からオスを1頭借り受け、円山にいるメスと現在ペアリングを行っているところです。

この記事を書いている日は、ペアリングをしてからまだ2週間弱しか経過しておりませんが、お互いに興味を持ちスキンシップを図ったり、一方的なアプローチ(???)を試みたり…、時には全く興味がなくなり素通りすることも。2頭とも、とても様々な表情を見せてくれています。



ペアリングして間もない頃。
おそるおそる…
いつも以上にスローなナロ

かおり(メス)



初めて自分の
空間に現れた
ナロから目が
離せません！
ドキドキ…



2頭のコミュニケーション
を、初めて確認！かおりが
ナロを後ろから掴んで毛づくろい
しています

だいぶ慣れてきました！
体をくっつけて、お互いの
体をグルーミング♪



今は閉園中で、残念ながらお客様に見ていただくことは難しい状況ですが、開園しましたら、ぜひ2頭の様子を見に、スローロリスたちに会いに来てください！

そして、動物たちが抱えている現実を、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

職員一同、お客様と共にスローロリスの将来を見守っていただければと強く願っております。

これからも、円山動物園をどうぞよろしくお願いいたします♪

ゾウ舎の砂入れ替え作業を行いました！

サポートクラブの皆様こんにちは！いつもご支援ありがとうございます。
アジアゾウ担当の相田です。

今回は毎年恒例の一大イベントでもある床材の入れ替え作業を先月に行いましたので報告しようと思います。

ゾウ舎の床材

現在ゾウ舎では床材に「砂」を使用しています。これはコンクリートなどより柔らかく足への負担を軽くする、尿などを素早く吸収するため衛生的、地形を変えることで環境に変化をつけることができる、などのメリットがあります。

しかしながら、現在使用している砂は、体が大きく体重の重いゾウが踏んだ時に固まりやすく、水はけが悪くなってしまったといった問題が起こっていました。そのため昨年より非公開のエリアから順に砂のメリットを最大限発揮できる種類の砂に交換しています。

今年は、屋内放飼場(非公開)の砂を屋外放飼場に出し、新たな砂を屋内放飼場(非公開)に入れる作業です。

そこで、せっかく入れ替え作業を行うのならと、様々な場所に砂を積み上げて山を作り、地形を変えてみようと考えました。

砂入れ作業開始

ゾウ舎は広く、砂の量も多いため出し入れは重機で行います。

私たち飼育員も日常管理で重機の操作を行っていますが、やはりプロの専門業者がやると効率が良く早いです。

6日ほどで約200m³もの砂の入れ替えが完了しました。





下の写真が入れ替え後の放飼場です。

屋外放飼場にはいたるところに山を作り、屋内にも一か所山を作りました。

ここまで大きく地形を変えるのは円山動物園では初めての試みです。



ゾウ達の様子

砂入れ後のゾウ達の様子はというと、昼夜問わず山に登ったり、体をこすりつけたり、ぐっすり寝たりと頻繁に砂山を活用してくれました。

中でも良く寝ていた屋内の砂山は3日ほどでゾウの体の形にくぼむように崩されてしまいました。



左上：山に登るシーシュ

右上：エサを取るパール

真ん中：山で寝るパール

左下：屋内で仲良く寝る
シーシュとパール

右下：崩された砂山

今回紹介した写真はシーシュとパールのみですが、キレイにカメラに写せたのがこの2頭だったというだけで、シュティンとニヤインも山をよく利用してくれました！

今後は定期的に地形を変え、どのような状態にしたらゾウ達が気に入って利用してくれるのか、いろいろなパターンを試して反応を観察していきたいと思います。

次回、円山動物園のゾウ舎にお越しの際は放飼場の地形の変化にもご注目ください！

最後まで読んでいただきありがとうございました。

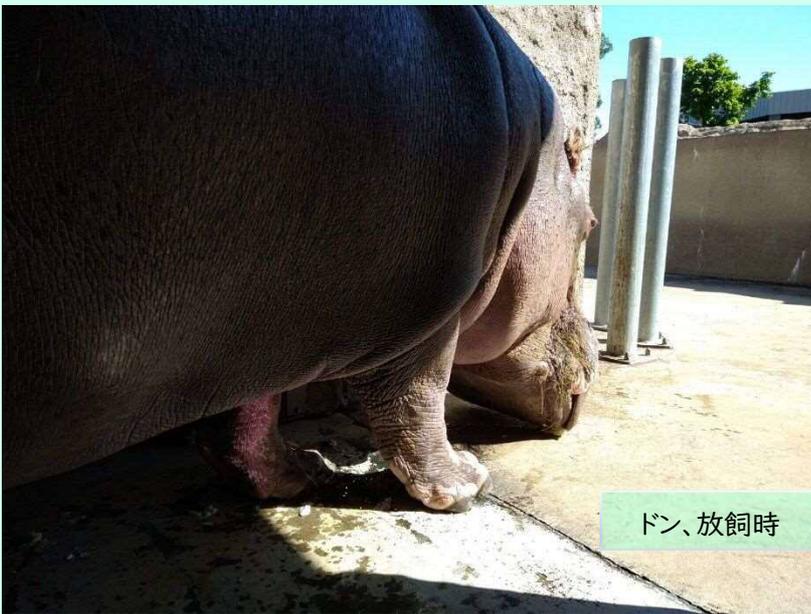
「カバの近況報告」

サポートクラブ会員の皆様こんにちは!カバ・ペリカン担当の清水です。

今回はカバについて近況をお伝えしたいと思います。

円山動物園ではオス 52 歳の「ドン」とメス 46 歳の「ザン」の 2 頭を飼育しています。

カバの担当になり一年目は個体の性格がわからず、放飼時に時間がかかる等苦戦していましたが、最近では放飼、収容共にスムーズにでき 2 頭共にリラックスした状態で過ごせている様子です。



ドン、放飼時

ドンは警戒心が強いので、プールから上がる際に近くで見られたり、カメラを向けられたりすると、中々水から出ない事が多いです。プールで口を開け、水をバシャバシャかき乱している時は、何か嫌な事や不満がある時に多く見られます。一度機嫌を損ねると中々出てこないため、最近はプールから上がり扉の前まで来るとリンゴやキャベツ等の好きな物を食べる事ができるよう毎朝のルーティンを決めたところ今では呼ぶとスムーズに出てくるようになりました。

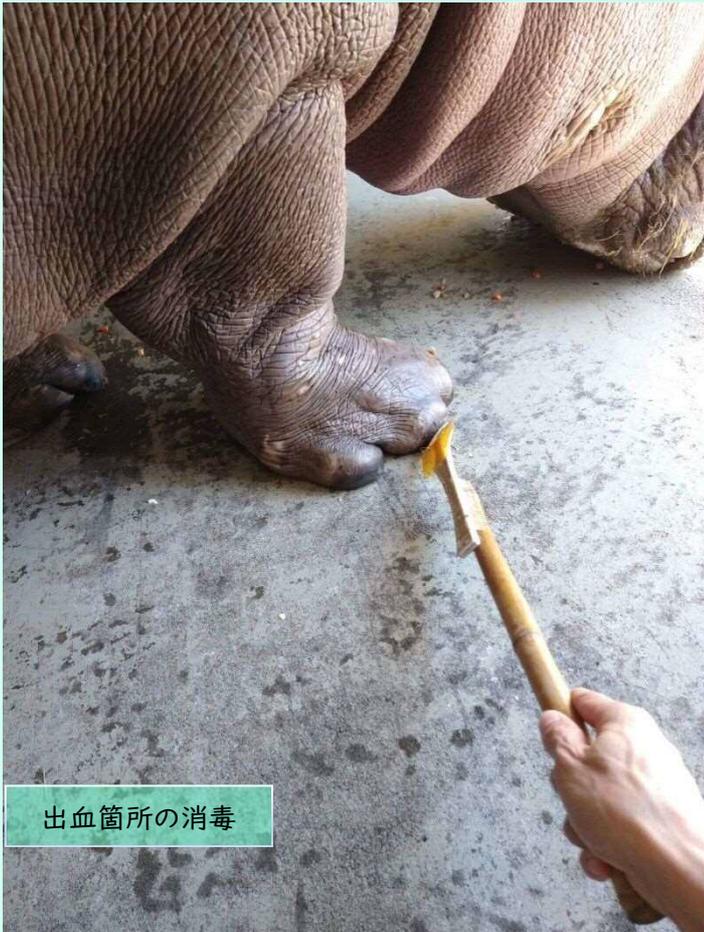
給餌は 1 日 3 回に分けて与えています。その日のカバの行動に合わせて回数が変わる事もあります。特に 15 時以降になると寝てしまい、エサを置いても食べに来ない事が多いため時間配分に気をつけて給餌を行っています。エサの内容は、乾草、ヘイキューブ(草を圧縮し固めた物)、おから、グルコサミンサプリメントを基本とし、トレーニング時には、ニンジン、リンゴ、キャベツ等を少量与えます。



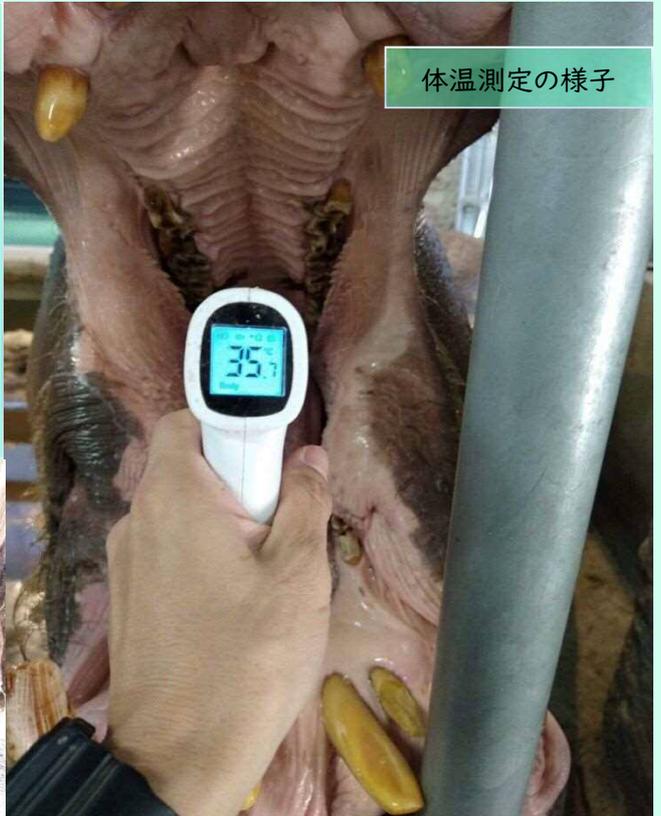
放飼時に与えるエサ

放飼時には色々なケアを行うチャンスでもあります。現在は、扉の前で口を開けてもらい体温測定、通路を歩いて外へ出る時には、四肢のケアを行っています。

体温測定は毎回同じ場所で測るのが難しく、ザンは口を大きく開けてくれるので測りやすいのですが、ドンの方は口が半分ほどしか開かないため苦戦しています。人間のように基準となる指標が無く、カバの口腔内で計測した平均温度はわからないため、毎日できるだけ同じ場所で計測し平均をとっているところです。



出血箇所の消毒



体温測定の様子

ザンが稀に足の爪付近から出血するため都度消毒を行っています。

冬季間は乾燥対策のため毎日ワセリンを顔や体に塗っていましたが、気温が高くなると皮膚の状態も良好だったためしばらくワセリンは塗っていませんでした。これまでもひどい時には、清掃のため30分ほど屋外に出ただけでも収容時にはひび割れが数カ所に発生し、出血している事もありました。今年も冬季の乾燥対策のため、今から少しずつ準備していきたいと思っています。

これから寒くなる季節ですが、サポートクラブ会員の皆様におかれましても、

動物園に来る際には乾燥・防寒対策をしっかりとってお越しいただければと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

飼育4班

さっぽろ円山動物園サポートクラブのみなさま、いつもありがとうございます。
チンパンジーとシンリンオオカミ担当の高岡です。
今回はチンパンジーの性成熟と発情についてお話します。
少し長いですが、どうぞお付き合いください。

「チンパンジーの性成熟と発情」

チンパンジーのメスの性成熟は一般的に野生ではおおよそ8~9才、飼育下ではもう少し早いと言われています。メスは性成熟を迎えると約36日の発情サイクルを示し、周期中にはメンス(人間でいう「月経」)がきて性皮が腫脹し、発情を終えるころにはしぼみます。チンパンジーは性皮の腫脹のピークが終わるころに排卵するということが分かっており、これを知っているかのように性皮の腫脹が最大に近づくとオスへのアピールや交尾行動が盛んに見られるようになります。オスの性成熟はもう少し早く、飼育下では6才頃から繁殖可能になると言われています。



通常時



発情時(性皮の腫脹ピーク時)

チンパンジーが性成熟を迎え精神的にも大人になるころ、ちょうど人間の思春期にあたる時期がチンパンジーにも存在し、群れの中での立ち位置や個体同士の関係にもわずかながら影響を与えているように感じます。円山動物園には現在4頭の若いメスがいますが、私がチンパンジーを担当してきた3年間で、群れの中でそれぞれに少しずつ見られている変化をご紹介します。



●若者から大人へ「テス」

テスは2004年9月生まれ、今年で16才になる「オトナ」メスです。チンパンジーが「ワカモノ」と呼ばれる年齢はおおよそ14才頃までで、それ以降は群れの中ではオトナ扱いとなります。3年前は13才、まだ少しやんちゃさが残り、トラブルメーカーになることもしばしばあったように思います。同年代の他のメス個体とケンカをして、そのたびに母親のジェーンが加勢して、代わりに仲直りをして…といった具合でした。

ところが1、2年前からケンカをすることが減り、むしろ妹のコユキがケンカをした際に、代わりに相手に仲直りのグルーミングをすることが増えました。妹の存在もあってか、すっかりお姉さんになったように感じます。

●オスに守ってもらう「レディ」

レディは2006年2月生まれの15才。幼いころに母親を亡くし、飼育担当者に育てられたのち群れに戻りました。血縁関係にある個体がないこともあり、群れの他個体との関係性にはとても苦労してきた個体です。心身ともに大人になってきた今、群れで唯一のオス「アッキー」との関係が良好なことがレディにとっての幸運でした。レディに発情が来ると、アッキーは追尾したりグルーミングをしたりと一緒に過ごす時間が多くなります。そのおかげで、レディが他の個体から理不尽なケンカを売られようものならすぐにアッキーが来て守ってくれます。レディもそれを分かっているようで、発情がくると少し強気に過ごしているように見えます。



●オスへのアピールを覚えた「ハル」

ハルは2008年3月生まれ、現在13才です。ハルはガチャの娘で、3年前まではまだガチャのおっぱいを(もうミルクは出ていないにもかかわらず)吸っていることもあったくらい、甘えん坊な個体です。ガチャが高齢になってきたことから、そろそろ親離れをしてほしいなあと考えていた頃のこと。これまで発情が来てもとくに変わった様子が無かったハルがある日、アッキーにプレゼンティング(発情時にメスがオスに行うアピール)をし始めました。アッキーの周りを跳ねるように動き、性皮を見せます(アッキーはあまり反応しませんが、お構いなし)。幼少期からともに過ごしてきたアッキーに対して、メスとしてのアピールをするようになったハルの成長にとっても嬉しかった出来事でした。

●もうコドモじゃない「コユキ」

コユキは2011年11月生まれの今年で10才になる円山動物園で最年少のチンパンジーです。私が担当に着いた頃、性皮の腫脹はまだ不定期に膨らみが見られる程度でメンスもありませんでした。今から2年前の9月、初潮がきます。それ以降、性皮の腫脹は周期どおりに繰り返し、次第に大きくなっていきました。そんなコユキの身体の変化よりも目立ったのが、群れの中での扱いです。これまでは母親のジェーンや他個体の持っている餌を横取りするなど、やんちゃをしても怒られなかったのが、ルールを守らなかった場合に



は大人と同じように怒られるようになりました。しかし、今では他個体を怒らせて遊んでいるほどのイタズラっ子で、あと数年もすれば落ち着くのだなと思いつつも日々ヒヤヒヤさせられています。

「チンパンジー放飼場の植栽近況報告」

続いて、サポートクラブで購入していただいた、チンパンジー屋外放飼場の苗の状況のご報告です。初年度に植えた樹木のなかでひととき大きく育っているのが「タラ」(食用にもなっているタラの芽のタラ)です。実はタラの茎や葉には無数の鋭い棘が生えていて、触れるとかなりチクチクします。おかげで好奇心旺盛なチンパンジーたちもさすがにイタズラできないようです。



昨年5月に発芽したタラの苗

昨年8月の状態

現在はさらに成長しました！

今春は主として綺麗な穂が出る草丈の高いイネ科を植えました。1年目で成長が分かりづらいですが、抜かれず生き残っている株は着々と葉を伸ばしています。うまく伸びて綺麗な穂を出し、チンパンジーたちの隠れ場所になってくれるといいなあと、来年以降に期待です。今後もチンパンジーの「森」づくりに励んでいきたいと思っています。温かく見守っていただけますと幸いです。

「シンリンオオカミ ジェイの最近」

最後に、シンリンオオカミのジェイの近況をお伝えします。今年の4月に脊椎炎を患い一時観覧を中止、療養に専念した結果、再び元気に歩けるまで回復しました。その後5月末に今度は舌の裏に小さな腫瘍が見つかり除去手術を行いました。現在は体調も安定し食欲もあり、元気に過ごしています。高齢ということもあり後肢の運びがおぼつかなかつたり、時折便状が安定しなかつたりと心配なところはありますが、ジェイ自身の協力のおかげで定期的な採血と体重測定により健康状態のモニタリングができています。今後もジェイの体調を考慮しながら、より良い住環境を目指していきます。



療養から復活し、徐々に放飼場に出た日



満開の桜とジェイ



換毛は少し冬毛が残りました